

1. 事業の位置付け

事務事業名	公園整備事業		
事業担当	まちづくり事業部 みどり公園・水辺課		
予算科目	01-080405-070000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	02	②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる	
	02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 自治会など <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
市民が快適でやすらぎを感じられる、みどり豊かな魅力ある公園が充実しています。		市民が潤いとやすらぎの場を享受し、歴史・文化・スポーツに触れ合う機会を増やすため、住区基幹公園の整備を進めます。また、施設の老朽化が進んでいる公園については、再整備を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	公園ワークショップ開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			4	4	4			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	3年間の公園整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：ワークショップ開催20%、H20：八幡山・高麗山公園再整備43%、H21：文化財調査・高麗山公園再整備37%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			20	63	100			
成果指標②	指標名	整備又は再整備した公園の数						単位	箇所
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績				2	1			
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
桜ヶ丘公園整備ワークショップ4回、桜ヶ丘管理運営ワークショップ7回、塚越公園整備ワークショップ3回を実施し、案をまとめた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	公園への多様化する市民ニーズにこたえるために、幅広い参加者からの意見を取り込む必要がある。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民が公園作りの段階から参加することによって、公園への愛着を持ってもらえ、その後の公園行政への協力も得られる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	管理運営のワークショップを行うことによって、公園維持管理運営を市民と行政が協働で行っていくこととなった。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	公園作りだけでなく、管理運営までのワークショップに発展させて、市民と行政の役割を決め、協働することによって、効率の良い管理を検討する。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 地域住民とワークショップ等を通じ協働で基本構想を作ります。また、管理についても行政と地域の役割分担を行っていきたい。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				ワークショップ開催	文化財発掘調査、八幡山・高麗山公園再整備	文化財発掘調査、高麗山公園再整備		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	81,000	70,000	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	91,000	73,600	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	65,130	18,800	0	0
事業費 (A)		0	0	0	237,130	162,400	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.60	1.60	1.60	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	13,426	13,426	13,426	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	13,426	250,556	175,826	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 高麗山公園は、桜の開花には大勢の観光客が訪れます。しかしながら、桜の木も寿命や病気により減少してきているため、このままでは観光地としての存続が危ぶまれる。よって、桜の補植を行い復元をしたい。また、アスレチック遊具は、遊具の損傷により撤去をしたが、休日には、利用者が多く人気が高いため当初の遊具数は確保していきたい。	
平成21年度の実行方針 既存公園の再生に向け、既存施設に固執しないよう計画検討を実施する。	
課長コメント	現在、公園整備においてワークショップは必要不可欠となっているため、今後も公園整備計画に合わせ市の方針は出すが今、市民・地域が何を求めているのか検証するとともに協働で実施していきたい。